

第 11 回 学会報告記 (第 79 回日本循環器学会学術集会)

第 79 回日本循環器学会総会が、2015 年 4 月 24 日から 26 日の 3 日間の日程で、大阪で開催されました。近年、我が国の循環器医療水準は世界的に評価されていますが、今後も世界へ発信できるレベルの高い研究を目指すことをコンセプトとし、テーマは「日本発－最新の循環器病学」でした。



1 学会会場

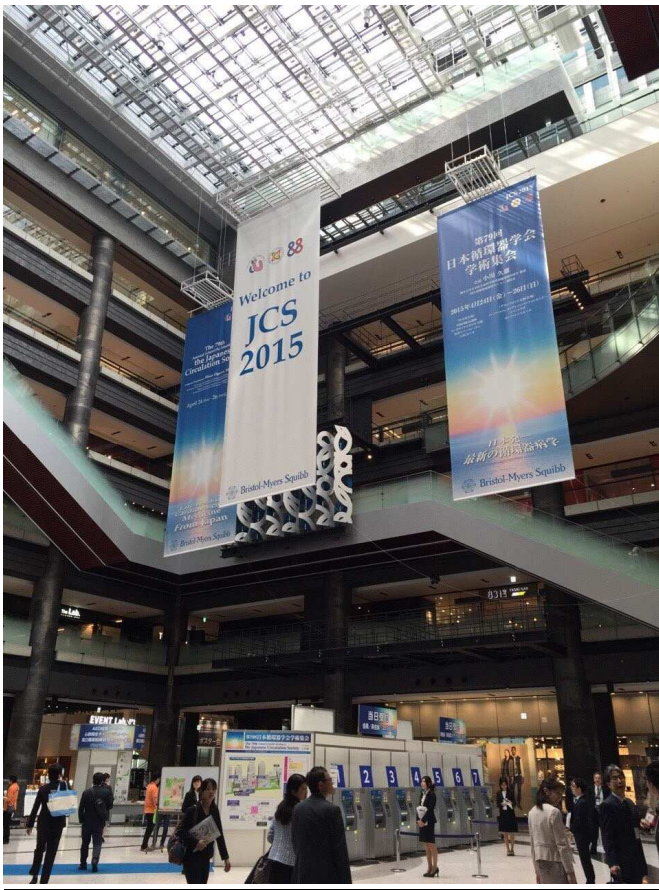
大阪駅直結のグランフロント大阪とそこからバスで 15 分程度の距離にある中之島の大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル大阪、堂島リバーフォーラム、ABC ホールの計 5 会場を使用した大規模な学会会場でした。会場は少し距離が離れており、移動の面では不便でしたが、往復バスが絶えず運行しており、待ち時間はありませんでした。



＜国際会議場＞



＜専用バス＞



2 発表その他

4月24日（金）

- ・ 神田貴史先生

PE-004（ポスターセッション）

Left Ventricular Diastolic Wall Strain was Associated with Recurrence Following Catheter Ablation of Paroxysmal Atrial Fibrillation

- ・ 須永晃弘先生

PJ-123（ポスターセッション）

Paced QRS Morphology Estimates the Location of Right Ventricular Pacing Lead: Investigation Using Computed Tomography

- ・ 辻村卓也先生

PE-199（ポスターセッション）

SYNTAX Score is an Independent Predictor of 4-Years Mortality in Patients with Peripheral Artery Disease

4月25日(土)

- ・ 上松正朗部長

OJ-18 一般演題口述 18 (座長)

Echo/Doppler

- ・ 石原隆行先生

OJ-155 (一般演題口述)

Comparable Arterial Repair 4 Months after Resolute-Zotarolimus-Eluting Stent
Implantation in Patients with Acute Coronary Syndrome: An Angioscopic
Observation

- ・ 神田貴史先生

PE-422 (ポスターセッション)

Useful Comprehensive Risk Stratification for Recurrence Following Catheter
Ablation in Patients with Persistent Atrial Fibrillation

- ・ 飯田修先生

LBCT2-7 (Late Breaking clinical Trials)

IVUS-guided Zilver-PTX Implantation for Femoropopliteal Lesions: One Year
Results from the ZEPHYR Registry

4 月 26 日 (日)

- ・ 松田祥宏先生

PJ-539 (ポスターセッション)

Characteristics of Patients Who Suffer from Procedure-Related Exacerbation of Heart Failure in Patients Undergoing Catheter Ablation of Atrial Fibrillation

- ・ 奥野翔太先生

PJ-755 (ポスターセッション)

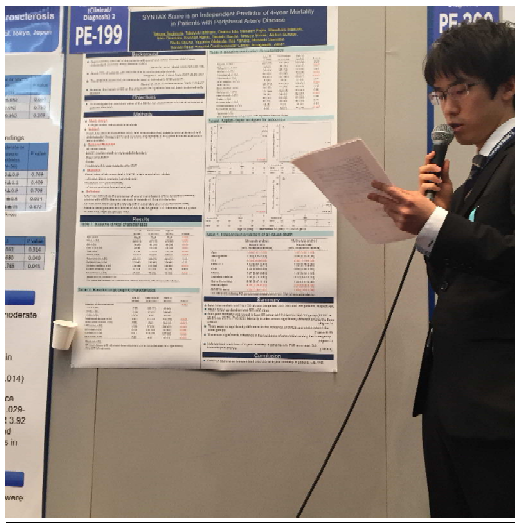
Impact of Resting Heart Rate on Mortality in Patients with Critical Limb Ischemia

- ・ 南都清範先生 (一般演題口述)

OE-371

Drug-eluting Stent Showed Better Clinical Outcome than Bare-metal Stents in TASC II Class A-C Lesions in the Femoropopliteal Artery

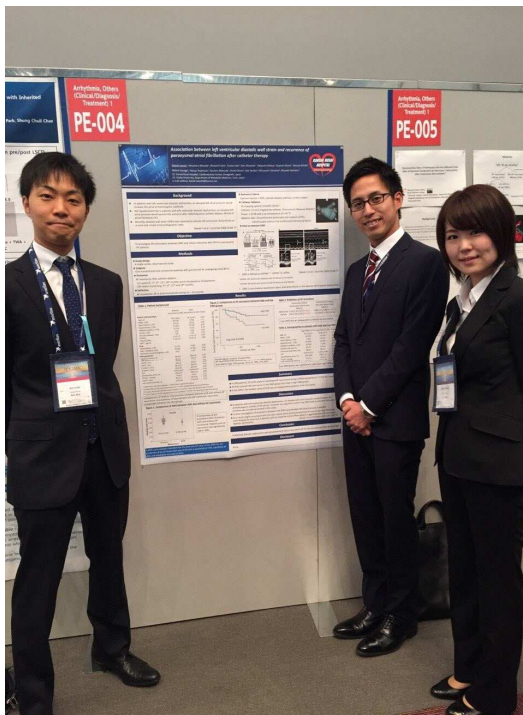
関西労災病院からは、上記 Late Breaking clinical Trials 1 演題、一般演題口述 2 演題、ポスターセッション 6 演題の計 9 つの演題を発表致しました。私が発表させていただいた演題も議論が盛り上がり、座長の先生はじめ貴重なご意見頂き、今後の検討課題を持ち帰ることができました。今後も日々の臨床業務だけでなく、このような学会活動にも精力的に参加できるよう精進していきたいと考えております。



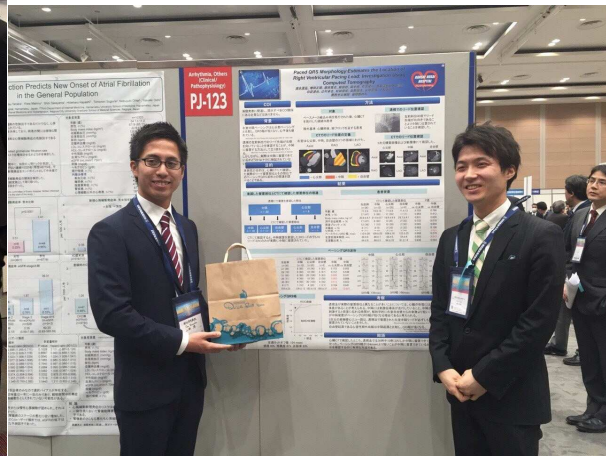
<辻村先生>



<飯田先生>



<神田先生と教え子の研修医たち>



<須永先生>

3 まとめ

私にとって初めての日本循環器学会総会はこれまでに経験のないほど、大規模で、興味深い発表が多く、どの発表を聴くか絞るのに悩んでしまう程でした。3 日間全日程で参加させていただき、非常に有意義な時間を過ごすことができました。今後もこうした学会に積極的に参加し、自分研究発表のテーマ探しをしながら、最先端の知識を吸収して、日々の日常診療の幅を広げていきたいと考えております。

以上、第 79 回日本循環器学会総会学会報告記でした。